

第2 実践事例

事例1 「原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること」をねらった事例

- 学年 第1学年
- 主な領域 [知識及び技能] (2) 情報の扱い方に関する事項
- 事例のポイント
 - ①ワークシートを用いて、生徒自身がどの情報を根拠として自分の意見をもったかなど、情報と情報の関係について確認できるようにする。
 - ②ICT端末を用いて、情報を整理して考えたり、情報を収集したりできるようにする。

1 単元名・教材名 意見と根拠の関係を理解して、自分の考えをもとう
「複数の情報を関連づけて考えをまとめる」「防災に関するデータ」「『みんながいるから大丈夫』の怖さ」

2 生徒の実態と本単元の意図

本学級の生徒は、説明的文章の学習を通して、原因と結果、意見と根拠など、情報と情報との関係について学習してきた。しかし、意見に対する根拠を正しく読み取ることができないなど、情報と情報との関係について理解が不十分な生徒が多く見られた。

本単元は、「情報の扱い方」について初めて中学校で重点的に学ぶ機会である。ここでは、グラフと文章の2種類の資料をもとに、「地域の人々に防災意識を高めてもらうために」どのような取組ができるかを考えるものである。1つ目の資料A「防災に関するデータ」は、「大地震に備えている対策」の世論調査結果を棒グラフに示したものである。2つ目の資料B「『みんながいるから大丈夫』の怖さ（山村武彦 著）」は、学生寮において火災発生時には、学生たちがどのような行動をとるかについての実験結果から、集団でいる時に緊急行動が遅れる「集団性同調バイアス」の危険性を述べたものである。

指導に当たっては、まず、日常の中から地震や火災、気象災害等による経験や体験を想起させることで、防災意識を高める取組が必要であることを確認させるとともに、この単元の後に予定している地域の方に向けた防災リーフレット作成例を示し、学習の見通しをもたせる。次に、資料A、Bそれぞれの内容の読み取りでは、複数の項目を関係付けながら、防災意識を高めるために取り組むべき課題を考えさせる。そして、各資料の内容をどのように関連付けて自分の考えをまとめたかが明確になるようなワークシートを活用することにより可視化する。このことにより、意見と根拠の関係を理解できるようになると考える。さらに、教科書に掲載の教材だけでなく、学校図書館やICT端末の活用により、関連する資料からより必要な情報を収集させ、充実した学習となるようにしたい。

3 単元の目標

- (1) 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。
〈知識及び技能〉(2)ア
- (2) 目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができる。
〈思考力、判断力、表現力等〉C(1)ウ
- (3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。
〈学びに向かう力、人間性等〉

4 本単元における言語活動

多様な情報を関連付けて、自分の意見をまとめる。(関連:言語活動例ウ)

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア	①「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。(C(1)ウ)	①学習の見通しをもって資料から情報を読み取り、粘り強く意見と根拠の関係について理解しようとしている。

6 指導と評価の計画（全5時間扱い）

時	主な学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価
1	<p>○学習のねらいや進め方をつかみ、学習の見通しをもつ。</p> <p>○資料A「防災に関するデータ」を読み、グラフから読み取れることを確認する。</p> <p>○資料Aのグラフの項目から2つ選び、それらを関係付けて、取り組むべき課題を考える。</p>	<p>○学習のテーマ 地域の人々に防災意識を高めてもらうためにどうすればよいか</p> <p>○資料（グラフ）の内容 資料A「防災に関するデータ『大地震に備えている対策』の調査結果」 「食料や飲料水、日用品などを準備している」が45.7%で最も多い。「防災訓練に積極的に参加している」が16.0%と低く、「特に何もしていない」が10.4%である。</p> <p>○2つの情報の関係</p>	<p>○日常の話題から、災害や防災について想起させ、学習への意欲付けを図る。</p> <p>編 P35 指導計画作成の留意事項(8)</p> <p>事例のポイント①・② ICT端末を活用して、読み取った情報を整理する。</p> <p>○付箋メモソフトを活用して2つの項目を関係付けて、取り組むべき課題を考えさせる。</p>
2	<p>○資料B「『みんながいるから大丈夫』の怖さ」を読み、筆者の意見を捉える。</p> <p>○資料Bの情報をもとに、取り組むべき課題を考える。</p>	<p>○意見と根拠の関係</p> <p>資料B「『みんながいるから大丈夫』の怖さ」 緊急時、人間は一人では自分の判断ですぐ行動を起こすが、複数の人間がいると、「集団同調性バイアス」が働き、緊急行動が遅れることがある。みんながいるから大丈夫のではなく、みんながいるから危険に流される場合がある。</p>	<p>○筆者の意見の根拠を明確にする。</p> <p>[思考・判断・表現①] ワークシート、観察 等 ・ここでは、筆者が文章全体を通して述べている意見を読み取れているかを確認する。</p> <p>○第1時の課題と異なってもよいことを伝える。</p>
3	<p>○各資料から選んだ情報とそこから考えた取り組むべき課題を関係付けて、自分の考えをまとめる。</p>	<p>○情報と情報との関係</p> <p>○意見と根拠の関係</p> <p>事例のポイント① ワークシートを活用して自分の意見と根拠をまとめる過程を可視化する。</p>	<p>○資料のどの部分を根拠にしたかを明確にして、自分の意見をまとめる。</p> <p>[知識・技能①] ワークシート、観察 等 ・ここでは、自分の意見と根拠となる部分の関係を理解しているかを確認する。</p>
4	<p>○「防災」に関する情報を、学校図書館やICT端末を活用して収集・整理する。</p> <p>○これまでの学習を踏まえて、取り組むべき課題についての自分の考えをまとめる。</p>	<p>○必要な情報の収集・整理の仕方</p> <p>事例のポイント② ICT端末を用いて情報収集をする。</p> <p>編 P35 指導計画作成の留意事項(7)(8)</p>	<p>○学校図書館の「防災」に関連する資料をまとめておき、授業時にすぐ手に取れるようにする。</p> <p>○自分の考えをまとめるために、必要な資料を探させるようにする。</p>

5	○グループで話し合っ て、取り組むべき課 題を考える。	○意見と根拠の関係	○生徒の発言から、どのよ うな情報を根拠として意見 を述べているか確かめる。 ○同じ情報から、異なる意見 が導かれてもよいことに気 付かせる。 [主体的に取り組む態度①] <u>観察</u> ・ここでは、粘り強く根拠と 意見の関係を理解しようと しているかを確認する。
---	-----------------------------------	-----------	--

7 本時の学習指導（本時 3 / 5 時）

(1) 目標

- 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。
(知識及び技能) (2)ア

(2) 評価規準

- 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。【知識・技能】

(3) 展開

学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価	時間
1 前時の学習内容を 振り返り、本時の課 題を確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> これまでに得た情報が、自分の意見にどの ように関係しているか確かめよう。 </div>		2
2 資料A、Bをもと に、自分が考えた意 見を確認する。	具体的な例 ・資料Aから、防災訓練への参加を呼び掛け る。 ・資料Bから、周りに大勢の人がいても安心し ないで、すぐ行動する意識をもつ。	○第1時、第2時の学習を振り返 り、それぞれの時間に考えた自分 の意見の根拠となっている部分に 着目させる。 ・資料A…グラフの項目を関連づ けて考えた内容 ・資料B…筆者の意見	1 0
3 資料A、Bから考 えた意見を関係付け て、地域の人々に防 災意識を高めてもら うためにどうすれば よいかについての自 分の意見をワークシ ートに記入する。	○情報と情報との関係 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 事例のポイント① ワークシートを活用して自 分の意見と根拠をまとめる 過程を可視化する。 </div>	○資料A、Bから自分が選んだ情報 を関係付けて、自分の考えをもた せるようにする。 ○自分の考えをまとめる過程を、ワ ークシートで可視化する。	1 0
4 意見と根拠をつな ぐ考えを記入する。	○意見と根拠の関係	○自分の意見を支える根拠が何か、 明確にする。 ○第1時の初めの意見と比較して、 2つの資料をもとに情報を関係付 けて考えた意見となっていること を確認する。	2 0

<p>〈期待される生徒の反応〉</p> <p>【資料Aから】</p> <p>「食料や飲料水、日用品などを準備している」…45.7%</p> <p>「停電時に作動する足元灯や懐中電灯などを準備している」…43.2%</p> <p>「防災訓練に積極的に参加している」…16.0%</p> <p>【資料Bから】</p> <p>「複数の人間がいると『みんなにいるから』という安心感で、緊急行動が遅れる傾向にある。これを『集団同調性バイアス』と呼ぶ。」</p> <p>【意見と根拠をつなぐ考え】</p> <p>災害に備えて準備をしている人は多いが、訓練に参加している人は少ないため、実際に災害が起きた時、どう行動すればいいかわからない人が多いのではないかと。</p> <p>【自分の意見】</p> <p>実際に災害が起きた時、どう行動すればいいかまとめた避難マニュアルを作り、何をすればよいか一目でわかるようにするとよい。</p>	5	
<p>5 本時のまとめをする。</p>	<p>評価規準</p> <p>【知識・技能①】</p> <p>ワークシート、観察等</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の意見と、根拠となる内容の関係を理解しているかを確認する。 自分の意見をまとめた文章の記述やワークシートへの記入の様子から確認・分析をする。 <p>〈「努力を要する」状況(C)への手立て〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料A、Bから読み取ったことを再度確認し、ワークシートに記入して整理させる。 	5
<p>自分の意見は、得た情報を結びつけた内容の根拠がはっきりすると、意見も明確になることがわかった。</p>	<p>○これまでに得た情報をもとに自分の考えをまとめる活動を通して、意見と根拠など情報と情報との関係について理解できたかを自分の言葉で振り返らせる。</p>	3
<p>6 学習の振り返りをする。</p>	<p>〈期待される生徒の振り返り〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 意見と根拠を区別して、自分の意見を考えることができた。 意見を述べる時には、根拠をはっきりさせることが大切だとわかった。 情報を関係付けることで、初めの意見と比べて、より具体的な意見を考えることができた。 	

＜生徒のワークシート例＞

<p>【資料Aから選んだ情報】</p> <p>・食料や飲料水、日用品などを準備している人が多い。</p> <p>・近くの学校や公園など避難する場所を決める人が少ない。</p> <hr/> <p>【考えたこと】</p> <p>・避難したときの対策を知っている人が全体の約半分の人しかいないので避難時に対策できなくて対策の仕方などのプリントを地域の人にくばる。</p>	<p>【意見と根拠をつなぐ考え】</p> <p>・資料Aの避難時の実施結果を知ってもらえば、集団でも「集団同調性バイアス」もなくなり、家族と決めていた避難場所に行くことも可能になるから。</p> <p>・資料BやCをもとに、ポスターや災害に関する対策などの講演をすれば、1人1人の災害への意識も高くなり、災害が起きてもおらうという行動ができると思っただけから。</p>	<p>【資料Bから選んだ情報】</p> <p>・人は、「みんながいるから」という安心感を持ち、緊急行動がとれなくなる。</p> <p>・1人いる時と、複数人いる時の対応の違い。</p> <hr/> <p>【考えたこと】</p> <p>・災害が起きた時に、集団で行動している時に「集団同調性バイアス」にならないように「みんながいる大丈夫」のポスターを作り、呼びかける。</p>
<p>【自分の考え】</p> <p>地域の人々に防災意識を高めてもらうには…</p> <p>・1人1人の災害への意識を高めるために、資料Aの「みんながいる大丈夫」の怖さについてという資料をもとにポスターを作ったり、地域の人同士で災害の怖さや対策を話し合ってもらえるような環境（講演や会議ができる場所）を作り、お互いの災害の意識を高める。</p>		